

大学生向けの 出前講座を開催

日建連の土木工事技術委員会・土木技術研究部会（古市耕輔部会長「鹿島建設㈱」）は七月三日、日本大学駿河台キャンパスにおいて、「シビルエンジニアの仕事」と題した紹介映像を用いて、大学生向けに出前講座を開催した。

この出前講座は土木を学ぶ大学生を対象として、「建設業の主なプロジェクト、会社および現場組織の例、業務内容等」について紹介した後、最後に質疑応答の時間を設けることにより、学生に対する建設業への理解促進を図るべく、毎年、同部会の活動の一環として関東近郊の大学



学生の質問に答える小島委員

二十数校を対象に各委員で分担し実施している。当日は、日本大学理工学部土木工学科に所属する大学二年生が八十名以上出席、そのうち五名が女子学生であった。

冒頭、今回の出前講座で講師を務める土木技術研究部会の東急建設㈱・小島文寛委員と三井住友建設㈱・中積健一委員が自己紹介をした後に、小島委員が「本日は建設業界におけるICTの導入など、普段、大学の授業では触れることができない建設業界の現状を紹介する。総合建設業の仕事の皆様へ実感してもらいたい」と挨拶し、中積委員が「総合建設業および土木技術者の仕事は魅力的であると自負しているが、皆様にもその魅力を十分に知っていただき、将来、この業界に就職したいと思ってもらえれば幸いです」と述べた。

続いて、小島委員が「シビルエンジニアの仕事」の紹介映像を用いて、総合建設業における土木技術者の仕事を説明した。この紹介映像は、「土木および土木技術者が、社会インフラの整備や国土の強靱化に欠かせない魅力ある産業で



熱心に講義を聞く学生たち

あることを正しく理解してもらいたい」という趣旨で作成されたもので、総合建設業の仕事のわかりやすく伝えるため、図や写真を用いた七つの章で構成されている。内容は随時更新されており、建設業における生産性の向上、女性の活躍推進、週休二日の実現など、業界の現状に応じた日建連の様々な取組みを盛り込んでいる。今回は、紹介映像と内容説明だけではなく、小島委員が自身の体験を交えて具体的に話したことにより、学生たちはより熱心に講義に聞き入っている様子だった。

最後に質疑応答が行われ、まず学生から「土木に関する職種は色々あるが、総合建設業を就職先に決めたのはなぜか」という質問に対し、小島委員が「大学院でコンクリートの研究をやっており、研究したものを直接世の中に出してみたかった。研究開発したものが、現場で適用された時は嬉しかった。新幹線の高架橋工事の施工管理の経験もあるが、何もないところに構造物が出来上がる達成感を味わえることや、自分が携わり、生きた証を世の中に長く残せることは、総合建設業の大きな魅力である」と答え、中積委員が「橋をつくるのが得意な会社で仕事をしなかったら、大学生の時に今勤めている会社を志望した。現場での橋の施工のみならず、設計も担当してものづくりの実感を持ちたかった。設計施工一括方式で橋をつくるのは総合建設業にしかできないこと」とものづくりに対する熱い想いを語った。次いで、「総合建設業ではどんな人材を求めているのか」という質問に対し、小島委員が「一番大切なのは挨拶がきちんとしてできること。経験をすることに対して積極的なことも大事である。土木の資格については大学生で取れるものもあるが、実務経験がないと取れないものが多数ある。入社後の経験を積んだ方が資格は取りやすい」と答え、中積委員が「明るく元気で仕事に対してやる気がある人。また、最初から実践することは難しいが、

木に関する職種は色々あるが、総合建設業を就職先に決めたのはなぜか」という質問に対し、小島委員が「大学院でコンクリートの研究をやっており、研究したものを直接世の中に出してみたかった。研究開発したものが、現場で適用された時は嬉しかった。新幹線の高架橋工事の施工管理の経験もあるが、何もないところに構造物が出来上がる達成感を味わえることや、自分が携わり、生きた証を世の中に長く残せることは、総合建設業の大きな魅力である」と答え、中積委員が「橋をつくるのが得意な会社で仕事をしなかったら、大学生の時に今勤めている会社を志望した。現場での橋の施工のみならず

ず、設計も担当してものづくりの実感を持ちたかった。設計施工一括方式で橋をつくるのは総合建設業にしかできないこと」とものづくりに対する熱い想いを語った。次いで、「総合建設業ではどんな人材を求めているのか」という質問に対し、小島委員が「一番大切なのは挨拶がきちんとしてできること。経験をすることに対して積極的なことも大事である。土木の資格については大学生で取れるものもあるが、実務経験がないと取れないものが多数ある。入社後の経験を積んだ方が資格は取りやすい」と答え、中積委員が「明るく元気で仕事に対してやる気がある人。また、最初から実践することは難しいが、

色々な目線で話をできる人が求められている」と学生に適格なアドバイスをした。そのほかにも学生から様々な質問が挙がったが、一つひとつ丁寧に答えていた。

日建連では、建設業における若年層の入職促進に向けて様々な取組みを行っているが、このように実務経験豊富な現役の技術者が大学生と直接話す場は、大学生が自身の将来像を具体的に描ききつかけとして大変有効であると考えている。今後も学生たちに総合建設業の仕事や役割をしっかりと説明するなど、未来の技術者の誕生に向けて建設業への理解促進に関する活動を展開していく。

「シビルエンジニアの仕事」

ゼネコンにおける
シビルエンジニアの仕事
土木技術者

表紙

一般社団法人日本建設業連合会
JFC
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

本日の内容

| | | |
|--------------|---|-------------|
| 人々の暮らしと業界企業人 | 1 | はじめに |
| | 2 | 土木の役割 |
| | 3 | これからの土木 |
| | 4 | ゼネコンとは |
| | 5 | シビルエンジニアの仕事 |
| | 6 | 働き方の進化 |
| | 7 | まとめ |

目次

**土木で働く人々の仕事を
オーケストラによる演奏会に例えてみると...**

主催者=事業者
(発注者)

指揮者=現場監督
(ゼネコンの現場監督)

作曲家=設計者
(コンサル・ゼネコン)

楽譜=図面

演奏者=技術者
(型枠工などの職人)

観客=一般市民

建設業の仕事のわかりやすく説明している

**業界の取組み-もっと活躍できる職場へ
建設業で働く女性「けんせつ小町」の活躍推進**

活躍するけんせつ小町

日建連の様々な取組みも紹介している